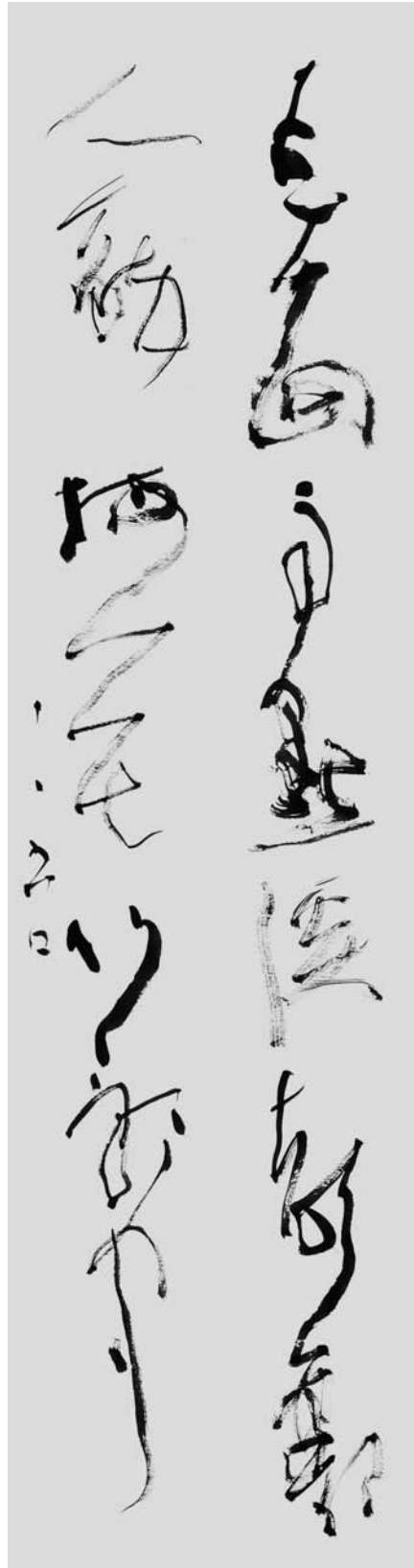


条幅部自由参考

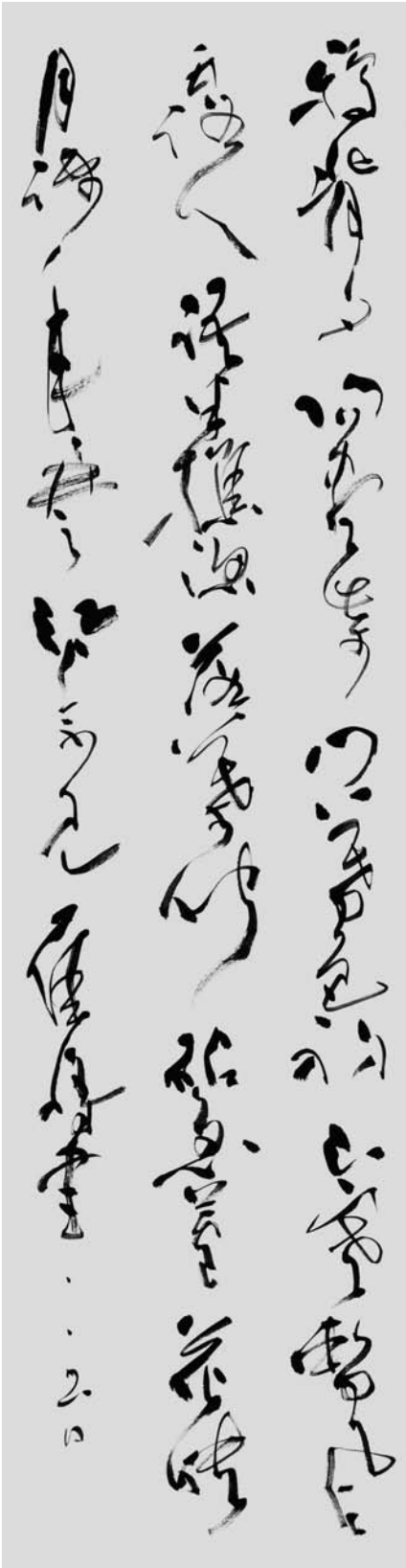
1月25日正午必着

明石春浦先生書

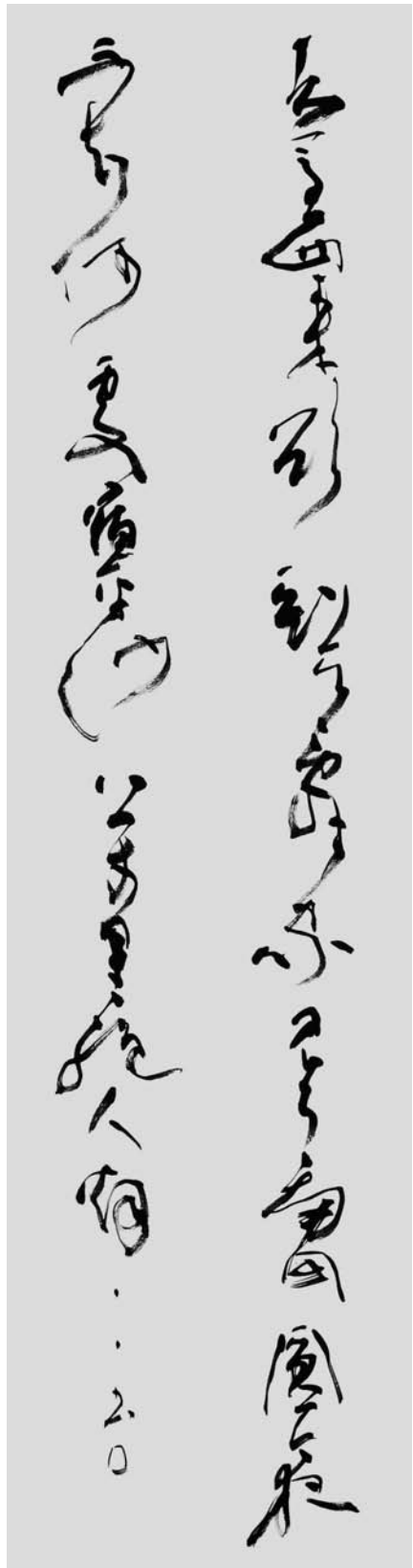


春回雨點溪聲裏。人醉梅花竹影中。(楊萬里) 梅先ず開き春はまさにかえらんとしている。

雨宮春聲先生書



鴉背夕陽盡 柴門暮色初 山寒暫風露 人語半樵漁 (居節)
 落葉聞砧急 蘆花映月疏 年年楚江上 不見雁將書



明石幸子書

条幅部創作課題

四種の詩文から一種を選択して出品のこと。

走馬西來欲到天
 今夜不知何處宿

辭家見月兩回圓
 平沙萬里絕人烟

(岑 參)

作者が西征に従軍し、果てなき沙漠を、地平線のかなた、まるで天に到ろうとするかのように来る日も来る日も行軍する。家を出てから満月を二度見る(二ヵ月たった)荒涼たる叙景。

性靜者、多壽考

(鮑 照)

性靜かなる者は壽考多し

考は老に同じ。心性の靜かなる者は長壽が多い。

雲輕色轉暖 草綠晨芳歸
 山墟罷寒晦 園澤潤朝暉

(柳 惲)

雲輕くして色轉暖かに 草綠にして晨芳歸る
 山墟に寒晦罷み 園澤に朝暉潤う

過香積寺

(王 維)

香積寺に過る

王維

不知香積寺 數里入雲峯

知らず 香積寺 數里 雲峰に入る

古路無人迹 深山何處鐘

古路 人迹無く 深山 何れの処の鐘ぞ

泉聲咽危石 日色冷青松

泉聲 危石に咽び 日色 青松に冷やかなり

薄暮空潭曲 安禪制毒龍

薄暮 空潭の曲 安禪 毒龍を制す

天地のこころあらはにあらはれて

輝けるかも富士の高嶺は

(若山 牧水)

半紙部規定課題A

1月25日正午必着

人 幽
家 學
野

※作品には必ず落款を入れてください。

明石春浦先生書

※課題A(楷書)と課題B(四体の中より一書体選択)の二点を出品のこと。

半紙部規定課題B

1月25日正午必着

行書

幽學野人家
 静依禪客院
 園春蝶護花
 東門有閑地
 誰種邵平瓜

隸書

幽學野人家
 静依禪客院
 園春蝶護花
 東門有閑地
 誰種邵平瓜

明石春浦先生書

下第寓「居崇聖寺」 許渾

懷玉泣「京華」

舊山歸路賒

静依禪客院

幽學野人家

林晚鳥爭樹

園春蝶護花

東門有閑地

誰種邵平瓜

下第して崇聖寺に寓居す

許渾

玉を懷いて 京華に泣く

旧山 帰路賒かなり

静は禪客の院に依り

幽は野人の家を学ぶ

林は晩れて 鳥は樹を争い

園は春にして 蝶は花を護る

東門に閑地有り

誰か邵平の瓜を種えん

草書

幽學野人家
 静依禪客院
 園春蝶護花
 東門有閑地
 誰種邵平瓜

行草書

幽學野人家
 静依禪客院
 園春蝶護花
 東門有閑地
 誰種邵平瓜

美玉を抱きながら（才能を有しながら）、この京城繁華の地で涙にくれる 故郷の山々は、帰り行く道程があまりに遠い

静けさは禪僧の房に傍うてただよい 奥深さは庶民の家のよう

林に日は暮れて、鳥たちはねぐらの木を争い 庭に春が訪れ、蝶は花を守護するかのよう

東の城門の所には空き地がある 誰がかの邵平に倣って瓜を種えるだろう

1月25日正午必着



夫れ靈跡誕に遷えば、

兩宮春聲先生臨書



中国各地には数百もの石窟寺遺跡が散在しているが、なかでも群を抜いて規模が大きいのが甘肅省の敦煌・山西省の雲崗そして、河南省の龍門石窟である。石窟寺は山岳を掘削して洞窟をつくり、そこに仏像を刻し安置した仏教施設であり、さらにその由来を壁に刻したものを造像記とよんでいる。

龍門石窟は河南省洛陽の南約十三キロメートルの龍門にあり、伊水をはさんで東西に石灰岩の岩山が対峙している。北魏王朝の孝文帝が洛陽に遷都（四九三）するとともに、北方の民族を扶植することを目的に、漢化政策の一端として龍門を掘削させたのを最初とし、以来何百年もの長期にわたり無数の石窟の造営が行われ、随・唐を経て五代・北宋までおよんでいる。それにもなう造像記の数も、文字の識別し得るもので三千種以上もあるといわれている。そのうちおよそ三百種ほどのものが北魏刻とされており、北朝の書風がうかがう資料として大変貴重なものである。古来、そのなかの書法のすぐれたものを選んで龍門二十品とよんでいる。

この魏靈藏造像記はその二十品のうちの一つにあげられ、龍門石窟最古の古陽洞のなかにある。緊密な構成、鋼のような鋭い線質、えぐる如き転折。結構法とともに起筆から終筆にいたるまでのゆるぎない力強さを学びたい。

（春濤）

北魏 魏靈藏薛法紹造像記

夫靈跡誕遷、必表光大之迹、玄功既敷、亦標希世之作、
自雙林改照、大千

夫れ靈跡誕に遷えば、必ず光大の迹を表し、玄功既に敷せば、また希世の作を標わす。双林、照を改めて自り、大千は

1月25日正午必着

夫靈跡誕遘必表光
 大之迹玄功既敷

・
 ・
 臨

△做書参考▽

※この釈文での臨書部門の出品は出来ません。

青門日暖塵光動紫
 陌花晴風色來

・
 ・
 書

青門せいもん日ひ暖あたたか塵じん光こう動どう紫し陌はな花はな晴はれて風ふう色しよく來きたる
 (楊巨源)

青門は漢の長安城の東南門が青色であったので青門という。紫陌は都の市街。花見時の風光。

1月25日正午必着

教育部毛筆



さん

が

中学一年

雨宮春聲先生書



けい

うん

中学二三年

菅井松雲先生書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



はこ
箱

ね
根

小学五年

藤井良泰先生書



しん
新

しゅん
春

小学六年

森戸春濤書

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

1月25日正午必着



細谷春誠先生書

わ

こう

小学三年



榎戸春龍先生書

はつ

ゆき

小学四年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。



明石幸子書

ふ じ 小学一年・幼年



藤田幸春先生書

はや い 小学二年

※作品には必ず学年と氏名を毛筆で記入してください。

教育部硬筆

ペン字部

真綿のよう な雪が	里山をつつ んでいる
--------------	---------------

小学五年

雪の結し ように朝日 が	あたり輝き はじめ
--------------------	--------------

小学六年

茶の花に うめの古	木を愛す かな子規
--------------	--------------

中学

清らかに 月影をうつ す	寒々とし 大川の流 れは
--------------------	--------------------

一般(級位)

雪の上を流 る霧や低 からし天 には満ち てる星見 ゆ	雪の上を流 る霧や低 からし天 には満ち てる星見 ゆ
--	--

一般(段位)

雪の上を流る霧や低からし天には満ちてる星見ゆ (島木赤彦)

明石幸子書

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。

ゆ	う
め	ま
を	に
み	の
ま	っ
し	た
た	

幼年

し	む
ろ	こ
く	う
み	の
え	山
ま	が
す	

小学一年

に	冬
	の
つ	山
つ	は
ま	
れ	ゆ
た	き

小学二年

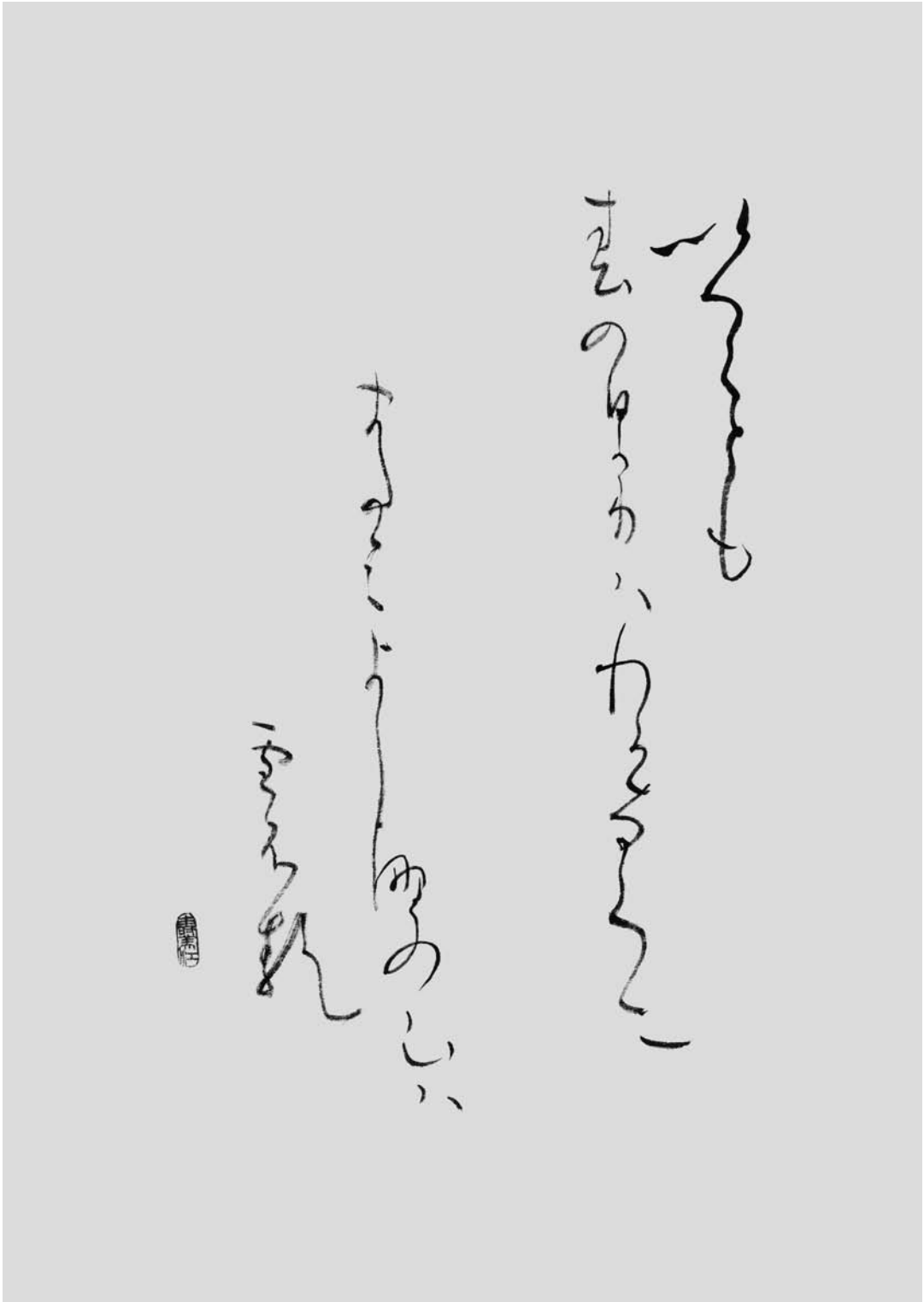
を	一
元	月
日	一
と	日
も	の
い	こ
う	と

小学三年

ス	雪
キ	が
ー	ふ
場	っ
に	て
早	坂
が	み
わ	ち
り	は

小学四年

※出品には玄和硬筆用紙を使用し幼年・小学は鉛筆 中学・一般はペンまたはサインペンで書くこと。
また、作品には必ず学年と氏名を記入してください。消しゴムを使用した作品は出品には適しません。



以^日いづ^利ことも 春^八のひかりは わ^可かなく^奈に^二 ま^末だみ^多よし野^三の山^八は雪^不ふる^類
(凡河内躬恒)

岩本景楓先生書